学校番号	3005

令和２年度　工業科（グラフィックデザイン系）

教科	工業	科目	デザイン製図	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	デザイン製図（実教出版）						
副教材等	自作プリント資料						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

CI、VI の観念を理解したうえでコンセプトに基づき、イメージの向上、販売促進や視覚的に訴えかけるようなデザインについて学習します。ドロー系、ペイント各ソフトを総合的に用いて形体・色彩・構図などに着目して表現を深めていきましょう。

2　学習の到達目標

・グラフィックデザインの意義や役割を理解し、コンセプトを立案することができる。
・グラフィックデザイン製品の企画から制作までの商品化への道筋を理解し制作することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	デザイン製図に関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	デザイン製図に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	デザイン製図に関する基礎的･基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	デザイン製図に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 観察記録表 レポート自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ロゴマークデザイン	・コンセプト発案 ・アイデアスケッチ制作 ・Illustrator にて制作 ・プレゼンテーション	◎ ○	◎	 ◎ ◎	 ○ ○ ○	a:ロゴマークの造形表現に関心を持ち、イメージ化について理解する。これからの学習に意欲を高めている。 b: 市場調査した結果を踏まえ、ロゴマーク化のコンセプトづくりを行うことにより、デザイン企画の方向性を明確にする。 c:コンセプトを踏まえアイデアスケッチを制作し、それを元に製版ルールに基づきベジェ曲線でトレース。基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、製作工程を合理的に計画し実施することができている。 d:ロゴマーク作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会におけるロゴマークや視覚表現の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価 等
後期	ポスターデザイン	・テーマに沿ったコンセプト設定 ・アイデアスケッチ制作 ・Illustrator 、Photoshop を使って制作する。ポスターの役割や社会的影響などについて学び、イメージに合うように配色・レイアウト等を工夫し表現する。	◎ ○	○ ◎	 ◎	 ○ ○	a:コンセプトに沿ったポスターを制作することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や目的などから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:使用ソフト特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:ポスター作成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会におけるポスターや視覚表現の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価 等

表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。